

# 情報収集衛星に係る経費の 平成26年度補正予算案及び平成27年度政府予算案

平成27年1月28日  
内閣官房

## 1. 平成26年度補正予算案の概要

- (1) 情報収集衛星レーダ6号機の打上げ用ロケットの製造・検査工程の前倒しを実施し、検査工程の時間を十分に確保することで、検査体制を強化し、確実なロケットの打上げを行う。
- (2) 情報収集衛星光学6号機及びレーダ6号機の開発に必要な部品・材料等の早期調達を行い、試験を早期に実施することで、開発工程における問題等を早期に把握・解決し、工程の遅延リスクを低減する。

## 2. 平成27年度政府予算案の概要

- (1) 外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的とした情報収集衛星の開発・運用を行う。
- (2) 従来の4機体制を構成する衛星について、引き続き、解像度・撮影頻度の向上や増大するデータの迅速な受送信等を通じて、情報の質・情報の量・即時性を最先端の商業衛星を凌駕する水準まで向上すること等により、情報収集衛星の機能の拡充・強化を図る。
- (3) 従来の4機体制の確実化、情報の量の増加、情報の質の向上等のための光学8号機、レーダ7号機の開発に着手する。
- (4) 即時性の向上や伝送データ量の拡大のためのデータ中継衛星の開発に着手する。
- (5) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、実利用を目指した重要技術の先行研究開発を拡充・強化する。
- (6) 衛星の小型・軽量化等を通じたコスト低減に貢献し得る、次世代技術の獲得及び既存技術の応用に係る将来衛星システムの研究に着手する。本研究は、従来の4機体制を構成する衛星に加え、将来的に開発に着手すれば、機数増のための衛星にも適用可能である。

### 3. 平成26年度補正予算案及び平成27年度政府予算案の内訳

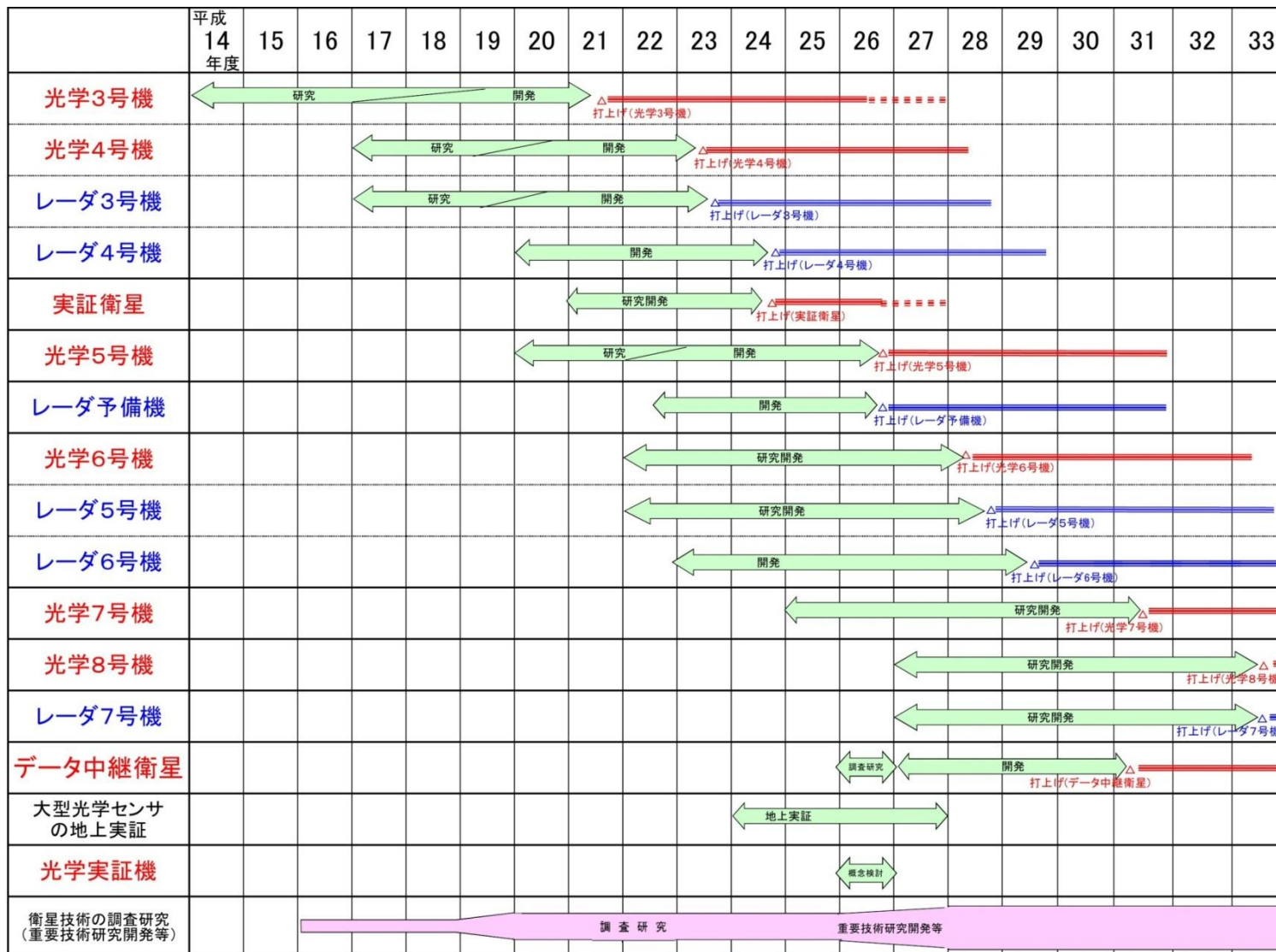
平成26年度補正予算案及び平成27年度政府予算案の内訳は以下のとおり。

(単位：億円)

経費区分	平成26年度 予算額	平成26年度 補正予算案	平成27年度 政府予算案	対前年度 比較増減
(1) 情報収集衛星の運用等	131	0	146	15
(2) 実証衛星を用いた軌道上実証	7	0	9	2
(3) 光学5号機の開発	80	0	8	▲72
(4) レーダ予備機の開発	92	0	4	▲88
(5) 光学6号機、レーダ5、6号機 の開発	144	83	276	131
(6) 光学7号機の開発	53	0	68	15
(7) 光学8号機の開発	—	0	21	21
(8) レーダ7号機の開発	—	0	12	12
(9) データ中継衛星の開発等	2	0	14	12
(10) 大型光学センサ地上実証	71	0	22	▲49
(11) 光学実証機概念検討	2	0	0	▲2
(12) 衛星技術の調査研究等 (重要技術研究開発等)	28	0	35	7
合計	610	83	614	4

(注) 四捨五入のため、必ずしも合計が一致するわけではない。

# 研究・開発及び打上げスケジュール



※ 平成27年度予算案時点での見通しであり、今後、変更が生じ得る。